

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－	－
	○	百貨店（経営担当）	販売量の動き	・お中元の受注が好調に推移している。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・暑い日が続き、アイスや飲料などの販売量が増加している。
	○	コンビニ（店長）	お客様の様子	・客数が増加したことにより買上点数が増加傾向であり、客単価も数か月前と前年を上回っている。そのため、物価高ではあるが、景気が上向きになったとみている。
	○	その他専門店 [陶器]（製造）	販売量の動き	・商品の発注頻度が高くなっている。
	○	その他専門店 [書籍]（部長）	販売量の動き	・文具の売上が前年比で10%近く上昇しており、好調である。インバウンド及び国内の観光客による需要とみられる。
	○	一般レストラン （代表者）	来客数の動き	・前月より、少し来客数が増えてきている。
	○	その他飲食店 [ファーストフード]（総務部）	来客数の動き	・観光客が増加している。
	○	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・端末価格の高止まりや節約志向の影響で、買い控えの傾向がみられたものの、夏商戦の販売促進施策や72か月の長期分割払いの柔軟化などにより、徐々に回復の兆しがみえ始めている。
	○	観光名所（職員）	単価の動き	・購入単価が高いインバウンドの来客数が増えている。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・街中の飲食店がやや増加しているが、物販はなかなか販売が伸びず、苦勞している。売行きに偏りがあるため、景気が良い状態ではないとみている。
	□	一般小売店 [酒]（店長）	お客様の様子	・飲食店での飲酒が減少している。
	□	家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・前年の沖縄県省エネ家電買換えキャンペーンでエアコン、冷蔵庫を大きく伸ばした反動減が続いている。
	□	乗用車販売店 （経理担当）	来客数の動き	・イベント開催時の来客数が順調である。
	□	観光型ホテル （総支配人）	来客数の動き	・宿泊施設への来客数は前年を上回っているものの、地域による差が大きく全体では余り変わらないとみている。大型レジャー施設が開業するエリアは比較的好調だが、都市部は新規競合施設の開業が相次ぎ、供給過多となっている。
	□	旅行代理店（マネージャー）	単価の動き	・大型レジャー施設開業や観光客の増加により、需要が見込める宿や航空単価が早くから高止まりしているため、なかなか県民の利用が伸びていない。
	□	住宅販売会社 （役員）	お客様の様子	・建築費の高騰が続いており、新築物件の供給が減少傾向にある。一方で顧客の問合せはあり、中古市場を中心に販売数を維持している。
	□	住宅販売会社 （営業担当）	単価の動き	・建築単価が高値を維持しており、以前と比べ変動が少ない。
	▲	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・7月は前年と比較して平均気温が1.6度低く推移し、涼味商品の販売が想定を下回っている。また、降雨日数も前年より多く、天候不順により、来客数が減少している。さらに、備蓄米の放出により米価の下落が売上を圧迫する要因となっている。これらを踏まえ、3か月前と比較して、景気はやや悪化しているとみている。
▲	スーパー（店舗管理）	競争相手の様子	・競合各社が軒並み既存店舗の前年数値を上回っているなかで、当社の既存店舗の数値が余り芳しくない。価格戦略の見直しを行っているが、利益は低迷している。併せて販管費が大きく上昇しており、特に賃借物件の値上げが続いている。	

	▲	コンビニ（経営企画担当）	来客数の動き	・前月は梅雨明けも早く、雨が少なかったこともあり、客足は好調であった。一方、7月に入ってからは天候が悪く、前年と比べ客足が減少傾向である。前月の反動もあってか、下向きとみている。
	▲	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・選挙の影響もあるのか、車両購入を目的とした新規来客数が減少傾向にある。
	▲	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・前年と比較して来客数が減少しており、顧客1人当たりの販売点数も減少している。
	×	その他飲食店〔バー〕（経営者）	来客数の動き	・今月は忙しい日がほぼなく、同業者からも良い話は余りなかったため、全体的に人が動いていないとみている。
	×	観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・4月の販売室数が前年比26%増加なのに対し、7月は前年比8%減少となり、マイナスに転じている。
企業動向 関連 (沖縄)	◎	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・予定していた法人関連の物件が受注できており、見積りも複数同時に行うなど、条件の良い物件の受注に注力できている。
	○	食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・夏休みに入り、大型レジャー施設の開業や米価格の上昇等により、停滞気味だった消費が上向いている。
	○	輸送業（経営企画室）	取引先の様子	・大型レジャー施設の開業に伴い、周辺のコンビニやスーパー、飲食店等の発注が増加している。
	○	輸送業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・前年同月と比べ、増収増益となっている。
	○	会計事務所（所長）	それ以外	・観光業以外の業種でも業績回復が顕著に表れている。
	□	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・見積り依頼、受注、生産とも大きな変化はないが、原材料価格の高騰により利益率が低下している。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—	—
	○	*	*	*
	□	人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・求人に対しての求職者の動きが鈍く、マッチングしても仕事が合わず短期で終了する者も多い。
	□	求人情報誌製作会社（審査）	求人数の動き	・3か月前と比較して、求人件数は横ばいである。施設管理やビルメンテナンスの求人数が微減している。また、コンビニやスーパーなど流通系は減少傾向にある。一方で、大型レジャー施設開業に伴う募集が継続しており、その影響で周辺エリアでは人手不足が広がっている様子がみられる。そのため、全体の求人件数は想定よりも落ち込んでいない。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同月比で求人数は減少しているが、求人者から人手不足の相談は多い。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	それ以外	・物価高が続き消費抑制も続いている。
	▲	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・2026年卒向けの求人数は例年どおりではあるが、2027年卒向けインターンシップの案内が例年より少なくなっているようにみられる。
	×	—	—	—